

headline

- ✓ 新年のご挨拶
- ✓ 日本最大級の環境展示会「エコプロ2018」が開催されました
- ✓ 事業報告、SEFからのお知らせ



公益財団法人
Save Earth Foundation

謹賀新年

旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。皆さまからの温かいご助言を支えに、関係者一丸となって資源循環事業と森林再生事業に取り組み、環境課題の解決に邁進して参る所存でございます。本年もなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、輝かしき新春を迎え、皆様の御多幸をお祈り申し上げます。

2019年1月

公益財団法人Save Earth Foundation 事務局一同

トピックス

「エコプロ2018～SDGs時代の環境と社会、そして未来へ～」開催レポート

環境に配慮した製品やサービスを集めた国内最大級の展示会「エコプロ2018」が、2018年12月6日～8日の3日間、東京ビッグサイトで開催されました。第20回を迎える今回は「SDGs時代の環境と社会、そして未来へ」をテーマに企業、自治体、NPO、大学など538社・団体が出展しました。

今回は「SDGs」がテーマとあって、企業・団体ブースでは自社の活動や製品がSDGsのどのゴールにつながるのかなど、アイコンを示しながらアピールする姿が目立ちました。SEFのスタッフも取材のため参加してきましたので、イベントの様子を「資源循環」と「森林再生」の視点でピックアップします！

食品ロス削減！もったいないチャレンジ

SDGsの「12 つくる責任 つかう責任」には「2030年までに世界の食料廃棄を半減する」という目標が掲げられています。少しでも目標達成に近づくよう、「食品ロス」の削減をテーマに、学び・体験し・考え・行動につなげてもらうことを目的としたコーナーで、主催者発表では3日間で約4,000人が体験に参加したそうです。食品廃棄の削減に取り組む自治体・企業・団体が出展し、食品ロスの現状や各視点でのロス削減策、さらには消費者や各者が連携してできることをパネルや展示などで紹介。参加者には、各社が提供した食品ロス削減につながる食品がプレゼントされ、多くの小中学生や家族連れでにぎわっていました。

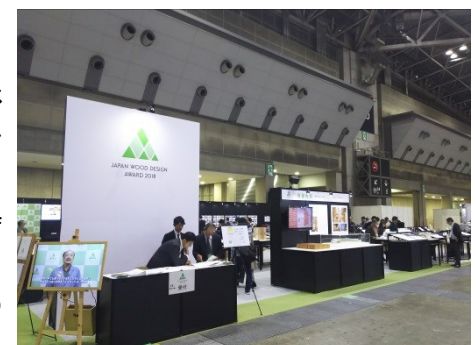
もり

森林から始まるエコライフ展2018

国連森林フォーラムは、SDGsの17のゴールのうちの14のゴールが「持続可能な森林経営」を通して実現できると示しています。エコプロ内で開催された「森林から始まるエコライフ展2018」には今年も、森づくりや木づかい、森林ESDや森林総合利用、都市山村交流等の取組を実施している28団体が出展し、森や木を活かした「持続可能な環境・社会・経済」の創出に向けた取組を紹介していました。参加者はスタンプラリーを楽しみながら、日本の森林の現状や豊かな森を守るために行われている様々な活動に触れ、森について考えるひと時を過ごしていました。



食品ロスの現状や各社の取組などをクイズ形式で紹介、楽しみながら食品ロスについて学びました



6日にはウッドデザイン賞2018の表彰式が行われ、ブースでは受賞作品が展示されていました

主催者発表によると、3日間合計で16万2000人超の来場者が訪れたエコプロ2018。

世間の環境問題への注目度の高まりと、企業のSDGsへの取組みが加速していることを確認できたイベントでした。

～食品リサイクルループを実践で学ぶ～ゼロエミッション研究会、企画準備中！

SEFでは、2017年6月～翌年3月にかけて、10回の勉強会と1回の見学会を通して、排出事業者の立場から廃棄物・資源循環の課題に“本気”で向き合い、解決への道筋を導き出す「ゼロエミッション研究会」を開催しました。廃棄物問題に精通した弁護士、日本における飼料化の第一人者、各リサイクル法研究のスペシャリストなど、毎回、廃棄物・資源循環に関わる各界の著名人を招き、講演とワークショップの2部構成で、延べ120名を超える参加者とともに学びを深めました。

そのなかで、参加者からは「学びだけでなくアウトプットにつなげたい」という声を多くいただき、実践につながる企画を検討してまいりました。そして2019年度、「実践で学ぶ！持続可能な食品リサイクルループのつくり方」と題した企画の実施に向けて、準備を進めています。

外食事業者の皆様を対象に、排出者単体での構築が困難な食品リサイクルループを、同一エリア内の複数の排出者が共同で取組むことで実現し、外食産業全体の食品リサイクル推進の火付け役になろうという企画です。

目下、今年4月からの企画スタートに向けて準備を進めています。ご希望の方にはご訪問のうえ詳しくご説明いたしますので、お気軽に事務局（TEL：03-5737-2744）までご連絡ください。

Save Earth Foundation
ゼロエミッション研究会

実践で学ぶ！
持続可能な食リループのつくり方
～仕組みづくりから認定取得まで～

2019年4月～2019年9月

対象 愛知県名古屋周辺に出店する外食事業者

費用 10,000円/社 ※SEF賛助会員（民間団体）加入者は無料
別途：見学会交通費、個別相談時分の交通費
※勉強会、見学会のみの参加も承ります（5,000円/回）

内容

- 勉強会、現地見学会
- 個別相談（随時受付）
- 仕組みづくり～認定申請
- 成果発表会（プレスリリース）

【参加のメリット】

- 食リループの第一人者、百瀬剛子氏（ユニース株式会社顧問、SEF理事）による指導
- 期待に終わらない、持続可能な食リループ構築のノウハウが蓄積できます
- 循環経済のループ構築（飼料化～飼料）を応用するの安心
- 複数事業者共同で廃棄物発生量を削減しながらでも、外食店舗でも扱いやすい「飼料」に作り変える食リループが構築できます
- 廃棄物との向き合い、申請書類を事務局が代行して実施
- 再生利用事業者との協力を得られ、食リループ構築の実績をつくるができます
- 成果発表会で共同でのプレスリリースを掲載、SDGsアワード等各種表彰へのエントリーが可能です（SDGs目標12、15、17に貢献）
- 共同での取組みによるスケールメリットの創出
- 食リループ構築、ゼロエミッション排出事業者の負担を最小限におさめつつ、食リループに取組むことができます

スタッフが詳しく説明いたします。
まずはお気軽にお問い合わせください！

公益財団法人 Save Earth Foundation 事務局
TEL: 03-5737-2744
Mail: info@save-earth.or.jp

チラシ画像をクリックするとブラウザが開き、PDFデータでダウンロードできます。

SEFからの【1月、2月開催】電子マニフェスト導入・運用セミナー 参加者募集

初心者にもわかりやすくマニフェストの仕組みやマニフェスト電子化のメリットなどをご理解いただけるよう、工夫を凝らした「電子マニフェスト導入・運用セミナー」。本年度4回開催しており、各回とも参加者の皆さまからは好評のお声をいただいています。

次回もマニフェストに関する情報のほか、食り法の基本方針見直し、廃プラスチック類の状況に関する動向など、廃棄物・資源循環に関する最新情報もご提供予定です。奮ってご参加下さい。

参加無料
個別相談に応じます（無料）！！

廃棄物管理で悩んでいるのは、あなただけではありません。

不安：義務化によるマニフェストの運用管理に課題がある

参加無料
電子マニフェスト導入・運用セミナー

【こんな方にオススメ】

- ◆そもそもマニフェストって何？制度について知りたい
- ◆電子マニフェストの導入を検討中である
- ◆電子マニフェストの義務化に不安を感じている
- ◆電子マニフェストを導入したが運用管理に課題がある

【日 程】 2019年 1月23日（水）

2月21日（木） いずれも16：00～17：30（受付15：30～）

【会 場】 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース

【定 員】 20名（先着順、1社2名様までとさせていただきます）

【参加費】 無料

詳しいご案内やお申込み方法は、SEFホームページをご覧ください。<http://save-earth.or.jp/archives/5580>

森林再生事業 活動報告

中・高校生向け森林林業体験学習プログラムを 実施しました（長野県東御市：東御の森ほか）

6月から10月にかけて、「東御の森」（長野県東御市）と「日向（ひゅうが）の森」（千葉県山武市）をフィールドとして、学校法人郁文館夢学園様（東京都文京区）の中・高校生向け森林林業体験学習プログラムを実施、延べ894名の生徒が参加しました。



このプログラムでは、森林での体験活動を通じ、生物多様性や持続可能な森づくりを考える機会を提供しています。体験活動は、森の自然を五感で感じる「ネイチャートレイル」や、林業についての学び「伐倒や下草刈り見学」の他に、森林の機能を学ぶ「土壌調査」や生物多様性について考える「水生生物調査」を、各学年のニーズに応じて提供しました。また、活動の中ではオオハンゴンソウ（特定外来植物）抜取作業にもご協力いただきました。

事前レクチャーは体験内容にあわせ、生物多様性につながる森の生き物の話題（中学：「いきものの気持ちになってみよう」）、自然災害と森林機能（高校：「森林のもつ公益的機能」）、SDGs（グローバル高校：「森林の課題とSDGs」）といったテーマを取り上げました。体験プログラムは千葉県森林組合北総事業所、やまぼうし自然学校、株式会社BiotopGuildに担当を依頼し、SEFが全体のコーディネートにあたりました。

森林再生事業 活動報告

2か所の森林で保全活動を実施（兵庫県丹波市： ウッディミナミの森、大分県臼杵市：臼杵の森）

去る11月17日（土）、保全協定を締結している西日本の2か所の森林で、森林保全活動を実施しました。

ウッディミナミの森では、特別賛助会員企業のワタミグループの労働組合との共催で、親子向けの企画として実施。森では間伐・枝払作業を体験してもらいました。午後には近くの農場で収穫体験も行い、森と食の関わりについて考えるきっかけも提供することができました。

この森では市島町南自治会の皆さんが中心となって「災害に強い森づくり」のための保全活動を行っており、SEFも自治会との保全協定に基づきお手伝いさせて頂いています。



臼杵の森では、九州地域のサポーター21名が参加。昨年に続き、手入れが行き届かなくなっていた竹林の整備を進めました。昨年着手したエリアは未着手のエリアと比べて明らかにスッキリとしており、それを見た参加者のやる気も増したようで、2人一組で除伐と棚積み作業をてきぱきと進め、木漏れ日を浴びながら気持ち良い汗を流しました。

この森では、市民の方に親んでもらえる森づくりのために、一昨年から散策路沿いに桜の植樹を行っており、今年も3月に実施予定です。実施日などの詳細はSEFホームページに掲載しますので、ぜひご参加下さい。



1月以降の森林保全活動のお知らせ

★★★★ボランティア募集中！★★★★



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日（東京駅から送迎いたします！）に定例活動を行っているほか、兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的を実施しています。

直近の活動は下記を予定していますので、ぜひご参加ください。



<1月以降の活動予定>

千葉県山武市 1月26日（土）

2月9日（土）、23日（土）

3月9日（土）、23日（土）

※日程は変更となる可能性があります。最新の情報はホームページを参照ください。

ホームページはコチラをクリック…<https://goo.gl/uEt3CZ>



企業・団体向け森林体験プログラム 「森活」のご案内

SEFでは、企業や団体の皆様向けに「森活」をご提案しています。

私たちがご提案する「森活」とは、「森を活かす」こと。“森”での“活”動を通して、社会貢献活動の一環としての取組みに、またチームの関係性の基盤づくりや強化に、さらにはリラックス・リフレッシュのための福利厚生など、様々な効果につなげることができると考えています。

フィールドとしてご用意するのは日向の森（千葉県山武市）。都心からおよそ90分の好アクセスで、企業・団体の皆様の「森活」をお手伝いします。

皆様のご要望に応じたメニューをご提案しますので、まずはお気軽に事務局までお問い合わせください。

「森活」ってどんなことをするの？

季節に応じて、様々なプログラムをご用意しています。



植樹



下草刈り



間伐



ツル切り・枝打ち



薪割り



森林散策



クラフト